

佐賀大学

佐賀大学文化教育学部における ICT利活用教育の現状と今後

佐賀大学文化教育学部
学部長 甲斐 今日子

ICT利活用教育に関する授業科目

情報・技術系

【情報科教育法 Ⅰ】 各2単位

- 受講者は高校情報科の教員を目指している。実践的な学校ICT教育として情報教育と教育の情報化を視点に行っている。
- ICT利活用教育として電子黒板、eラーニングシステム等、教育メディアを実際に使わせる。それを基に授業案を提示させ、簡易模擬授業をさせている。

【情報システム論】 2単位

- 受講者は情報科の教員を目指している。教育現場における情報システムを講義するものだが、教育の情報化の視点で授業を行っている。
- ネットワークの基礎、ハードウェア、ソフトウェア技術を理解させ、学校現場に導入される情報システムの俯瞰的理解と利活用における保守管理等、実践的な内容にしている。

【技術科教育法Ⅰ】 2単位

- 技術教育におけるICT利活用の基本を講義した後、実際に校内研で使える学校ICTハンズオン資料やWeb資料を開発することを課題にしている。
- また、教科教育の視点から、電子黒板とタブレットを連携させたシステムにおける模擬授業とリフレクションを演習し、授業デザインの分析と蓄積を行っている。

電子黒板とタブレット連携による教授デザイン
の検討



ICT利活用教育に関する授業科目

英語教育

【英語科教育法Ⅲ】2単位

- 中学校・高等学校(英語)教員免許取得科目。より良い小中連携及び中高連携のための英語教育に関する諸理論や指導法について学び、実践演習を通して指導技術の向上を目指す。(写真 &)

【英語教育学演習】2単位

- 専門必修科目。英語教育に関する諸理論の理解と指導実践力の定着・向上を図り、実験授業案作成、教材開発など、卒業論文研究に応用できる専門知識・研究法の知識・スキルの習得を目指す。(写真 &)



写真 (左) 英語科教育法
における学生による授業実
践演習の風景



写真 (右) 電子黒板を活用
した講義風景





写真 & (上下) 先行研究の発表・分析をもとにしたグループディスカッションの様子



ICT利活用教育に関する授業科目

外国語活動(小学校英語)

【教育実践フィールド演習Ⅲ】1単位

- 学校教育課程専門科目。小学校での教育実習に備え、教科(英語活動)グループに分かれて、5～10時間の単元授業開発と学習評価案に関する課題研究をおこなう。教科書や学習指導要領、授業実践について検討し、学習指導案と評価計画案を作成し、教材・教具を開発する。それらに基づき模擬授業を行う。(写真 &)



写真 (左) 『Hi Friends!』 デジタル教材を活用した模擬授業の風景 (How many? 世界の数の数え方)

写真 (右) 『Hi Friends!』 デジタル教材を活用した模擬授業の風景 (I like... リスニングクイズ)



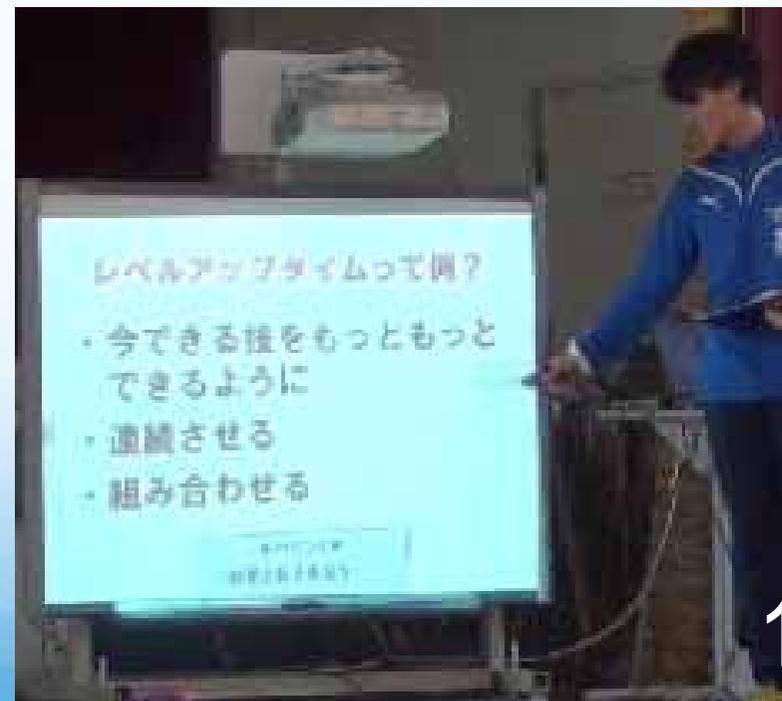
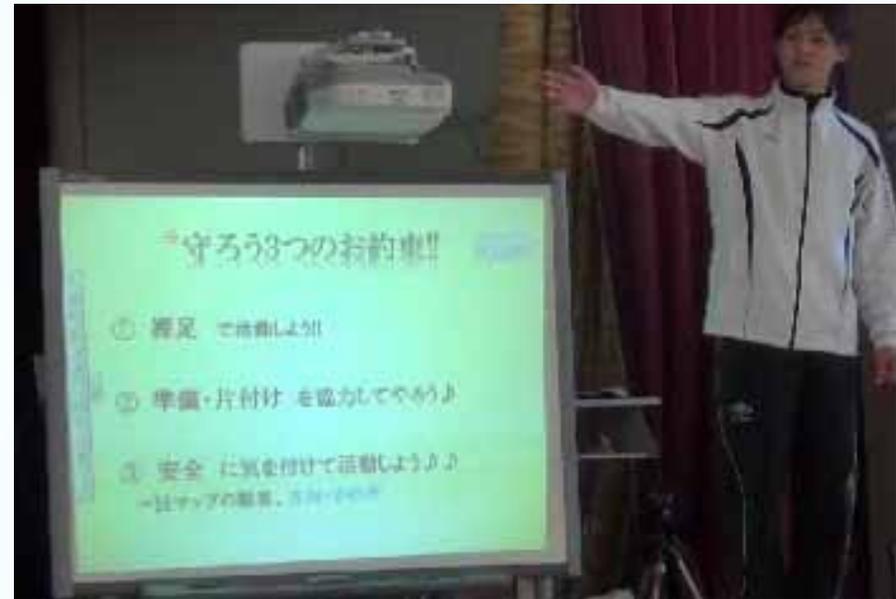
ICT利活用教育に関する授業科目

体育学習(体育科教育)

【教育実践フィールド演習Ⅱ】1単位

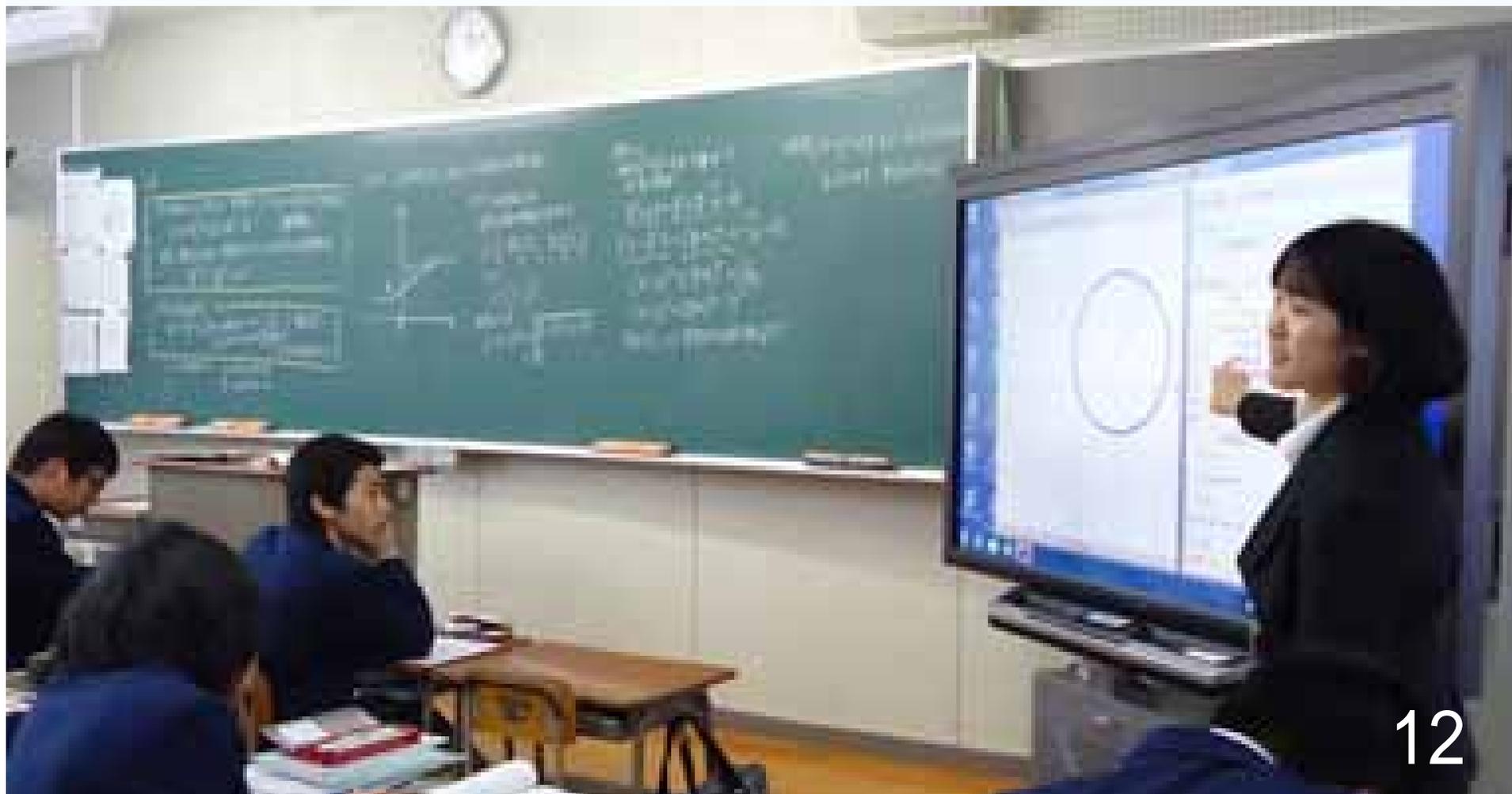
- 学校教育課程専門科目。2年生後期に1単位時間の授業開発を行い、附属の小学校で授業実習を行う。授業実習を行う附属小学校指導教員からの授業開発課題について、学習指導要領、先行の授業実践について検討し、学習指導案を作成し、教材・教具を開発する。それらに基づき授業実習を行い、成果と課題をリフレクションする。(写真 &)

写真 『電子黒板を活用した授業実習の風景 (5年生マット運動:附属小学校)』



「大学院教育実習」における ICTを利活用した授業力の向上

佐賀県内の小中高校における実習において
電子黒板等を利活用した実習授業を実践



教員採用試験における学生支援

- ▶ 教員採用試験対策プロジェクト
電子黒板等を用いた模擬授業対策で授業設計に応じた活用法を演習、振り返り。
- ▶ 情報教育やICT利活用教育の理論学習 のためにeラーニングによる「ICT利活用教育支援プログラム」を設置。
- ▶ 昨年よりも参加学生が増加、現在は佐賀県受験者のみに限定している。

「教員採用試験対策講座」を通じた ICT利活用授業の体験と研鑽



教員免許更新講習における支援

▶ ICT関連開講科目

【学校現場で生かすICT】

【学校ICT活用を支える情報モラル教育】

【学校現場で活用できる学習管理システム】

【ICTを利活用した体育授業実践に向けて】

例年、人気が高い。県外(福岡南部)からも参加多い。

教員免許状更新講習(必修講習)におけるICT利活用教育の取り扱い

ICT利活用教育の目的

①「ICT機器を使った学習活動の支援」

⇒(教師が生徒の)学習を助けるためにICT機器を使い、「わかる授業」を実現させる(一斉・個別・協働学習の充実)

②「情報そのものについての学習」

⇒(生徒が)情報社会で生きていくための必要な知識・技能を身につけさせる

③「ICT機器を使った校務の効率化」

⇒ICT機器を使うことにより,(教員の)事務を効率化し、「子どもたちと向き合う時間」を増やす

- 電子黒板(IWB)、情報端末(TPC)、デジタル教科書・教材...
- 通知表、指導要録、児童生徒出席簿等の電算化...
- 情報セキュリティの管理、個人情報の保護...

ICTの利活用は「手立て」であって、「目標」ではない。

佐賀大学